

正念場を迎えるクリーン水素製造のための光触媒技術

私が光触媒作用を利用した水分解反応の研究を開始したのは、東京理科大学の工藤昭彦先生の研究室へ配属された 2003 年のことであり、当時は合成したセラミックス粉末を水に懸濁させて光を照射するだけで水が水素と酸素に分解する、まさに夢の技術の性能を向上させることを目的に昼夜研究に励んでいた。それから 20 年以上経過した現在では、この分野の研究も大きく進展し・・・